

ネットワークドームカメラ

クイック設置ガイド

UD.6L0201B1241A02

弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご質問、ご要望がある場合は、販売店にご連絡ください。

この資料に関して

このマニュアルはドーム型のモデルに適用されます。

本マニュアルはいくつかの技術的な記述が間違った場所や印刷エ ラーを含む可能性があり、内容は予告なしに変更されることがあり ます。ご了承ください。

免責事項

Underwriter Laboratories Inc (以下「UL」)では、本製品のセキュ リティや信号出力に関するパフォーマンスや信頼性のテストは行っ ていません。UL は、UP の「Standard(s) for Safety for Information Technology Equipment, UL 60950-1」で規定している火 災、衝撃、事故の危険性についてのみテストを行っています。UL の認証は、本機のセキュリティや信号伝送に関する性能や信頼性 を保証するものではありません。UL は、本製品のセキュリティまた は信号出力関連の機能のパフォーマンスや信頼性に関して、一切 の表明、保証、認証を提供しません。

0500001030318

規制情報

FCC 情報

FCC準拠:この装置はテスト済みであり、FCCルール Part 15に規定 される、デジタル デバイスの制限に適合することが確認されていま す。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉 に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置 は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可 能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場 合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域 でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があ り、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要がありま す。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件にしたがうものとします:

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。

 このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干 渉を含んだ、あらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU 遺合宣言

この製品、および---該当する場合には---提供され る備品も含めて、「CE」マークの認定を受けており、 低電圧指令 2006/95/EC および EMS 指令

2004/108/EC、RoHS 指令 2011/65/EU に規定される、関連する整 合規格に適合しています。



2012/19/EU(WEEE 指令):この記号が付いている 製品は、欧州連合(EU)の地方自治体の未分別廃 棄物として処分できません。適切にリサイクルする ために、本製品は同等の新しい装置を購入する際

に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定され

た収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください:www.recyclethis.info.



2006/66/EC(バッテリー指令):本製品には、欧州 連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物として処 分できないバッテリーが含まれています。特殊バッ テリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッ テリーにはこの記号が付いており、カドミウム(Cd)、

鉛(Pb)、水銀(Hg)を示す文字も記載されています。適切にリサイク ルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。 詳細については次の URL を参照してください:www.recyclethis.info

安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失 を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告:この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性が あります。

注意:この注意を無視した場合、ケガしたり、装置が破損する可能 性があります。





- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法 令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関しては技 術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV(安全超低電圧) および 24 VAC または 12 VDC の有限電源を満たす必要があ ります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。

- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性が あるため、1つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しな いでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。製品が壁または天井に設置される場合、機器をしっかりと固定する必要があります。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を 切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。



- カメラを使用する前に電源供給電圧が適正であることを確認してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- センサー モジュールを指でさわらないでください。清掃が必要な場合、清潔な布に少量のエタノールをつけ、やさしく拭いてください。カメラを長期間使用しない場合、レンズキャップを装着し、センサー部をほこりから防護してください。
- 太陽や極めて明るい場所にカメラを向けないでください。焦点 ボケや不鮮明化が起こる可能性があり(動作不良ではありま せん)、またセンサーの寿命に影響する可能性があります。
- センサーはレーザー光線によって焼き付く可能性があるため、 レーザー装置を利用する場合には、センサーの表面がレーザ ー光線にさらされることのないようにしてください。

- カメラを非常に高温または低温の場所(動作温度は -30°C~+60°C、またはカメラのモデル名の末尾に「H」がある場合、
 -40°C~60°Cです)、ホコリや湿気の多い場所に設置しないでください。また強度の電磁放射線に当てないでください。
- 熱がこもらないよう、動作環境には適切な換気が必要です。
- 使用中はカメラを液体から遠ざけてください。
- 搬送する場合、カメラは元々の梱包財か、同じ素材のもので梱 包してください。
- 定期的な部品の交換:装置のいくつかのパーツ(たとえば電解 コンデンサ)についてはパーツの平均耐久時間に応じて、定期 的に交換してください。動作環境と利用状況によって平均耐用 時間は変わりますので、定期的な点検をすべてのユーザにお すすめします。詳細については販売店に確認してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性が あります。同一または同等のタイプのものとだけ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示にしたがって、 使用済みバッテリーを処分してください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービス センターに連絡してください。カメラを決して自分自身で分解し ようとしないでください。(承認されていない修理や保守行為に よる問題については我々はいかなる責任も負いません。)

目次

1	\観 説明	8
2	インストール	. 11
	2.1 分解	. 12
	2.2 マウンティング	. 13
	2.2.1 天井マウンティング	. 13
	2.2.2 ギャングボックスで天井マウンティング…	. 17
	2.2.3 ウォールマウンティング	. 20
	2.3 画角と焦点調整	. 23
3	AN を経由してネットワークカメラの設定	. 26
4	reb ブラウザからのアクセス	. 31

1 外観説明

ネットワークバレットカメラの概要は以下の通りです。



Figure 1-1 概要

Table 1-1 概要

No.	説明
1	バブル
2	黒いライナー
3	レンズ
4	マウントベース
5	リセット
6	ビデオ補助出力
7	シリアルポート
8	マイクロ SD カードスロート
9	ネットワークケーブル
10	電源コード
11	オーディオ/アラームインターフェース

NOTE

- ユーザー名、パスワード、IP アドレスとポート番号をリセットする には、カメラを起動時、または再起動時約 10 秒程 RESET ボタン を押してください。
- 一部の品番はオーディオとアラーム機能がサポートできます。そのインターフェースは下記となります。



Figure 1-2 オーディオとアラームインターフェース

2 インストール

始まる前:

- パッケージ内のデバイスが良好な状態にあり、すべてのアセンブ リ部品が含まれていることを確認してください。
- ●すべての関連機器は、インストール時に電源オフの状態になって いるこを確認してください。
- 設置環境に合わせる製品の仕様を確認してください。
- 損傷を避けるために必要な電圧と一致していることを確認してく ださい。
- 製品が正常に機能しない場合は、お買い求めの販売店にご連絡 ください。自分で修理やメンテナンスのためにカメラを分解しない でください。
- ●壁は、カメラの3倍の重さに耐える十分な強度があることを確認 してください。

NOTE

赤外線をサポートするカメラについては、IR 反射を防ぐために、次の注意事項を確認してください。

 ドームカバーのほこりやグリースは、IR 反射の原因となります。 インストールが完了するまで、ドームカバー膜を除去しないでく ださい。ドームカバーのほこりやグリースがある場合は、きれ いな柔らかい布とイソプロピルアルコールでドームカバーを清 掃してください。。

- カメラのレンズに近すぎる反射面がないことを確認してください。
 カメラからの IR 光は反射を引き起こし、レンズに反射する恐れがあります。
- レンズ周りの泡のリングは、IR LED からレンズを分離するバブ ルの内面にぴったりと付いている状態にしてください。泡リング とドームカバーがシームレスに接続されているように、カメラ本 体にドームカバーを固定してください。

2.1 分解

手順:

- 1. スクリュードライバーとバブルの端に3本のネジを緩めます。
- 2.図 2-1 に示すようにバブルを開き、内側の黒いライナーを取り外します。



Figure 2-1 バブルと黒いライナーを取り外す。

2.2 マウンティング

天井マウンティング

手順:

- 1. カメラを分解します。 セクション 2.1 を参照してください。
- カメラを固定したい場所に付属のドリルテンプレートを取り付けます。
- 3. エラー!参照元が見つかりません。のドリルテンプレートに示す ように天井にネジ穴3つをドリルします。



Figure 2-2 ドリルテンプレート

 天井の裏に配線したい場合、ドリルテンプレートに従って天井に ケーブル穴をドリルします。

- 5. 天井の穴にバックボックスの穴を合わせて、天井にカメラを取り 付けます。
- 6. 付属のネジでカメラを固定します。



Figure 2-3 カメラ固定

- 7.ケーブルを穴に通します。
- ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネクタを接続します。
- 9. 画角と焦点調整します。
- 10. インター黒いライナーをカメラにインストールします。
- 11. バブルもインストールしてねじで固定します。



Figure 2-4 黒いライナーとバブル固定

配線管でのインストール

カメラの側面から配線したい場合、下記の手順で従ってください。 **手順**:

1.反時計回りで防水プラグを回転させます。



Figure 2-5 防水プラグ取り外し

- 2. 電源コードとネットワークケーブルを配線します。
- 3. 配線管を穴に合わせ時計回りで固定します。



Figure 2-6 配線管インストール



ウォールマウンティングする時に、防水のために、サイドアウトレット を下向けにしてください。



Figure 2-7 サイドアウトレット方向

ギャングボックスで天井マウンティング

手順:

1. カメラを分解します。セクション 2.1 を参照してください。

2. ギャングボックスを天井に設置します。

3.2本のネジでギャングボックスの取り付けベースを取り付けます。



Figure 2-8 天井マウント

- 4. マウントベース中心の穴にケーブルを通します。
- 5. カメラをマウントベースに合わせます。
- 6. ねじを締めてカメラをマウントベースに固定します。
- ビデオ出カコネクタをモニターに接続します。電源コネクタを接続します。
- 8. 画角と焦点調整します。



Figure 2-9 カメラ固定

9. インター黒いライナーをカメラにインストールします。
 10. バブルもインストールしてねじで固定します。



Figure 2-10 バブル固定

2.2.3 ウォールマウンティング

壁に取り付けには、壁マウントを購入する必要があります。

手順:

- 1. カメラを分解します。 セクション 2.1 を参照してください。
- 2.図 2-11 示すように、壁マウントをイントールしてマウンティング用のアダプターもイントールします。
- マウントアダプターの対応するネジ穴と取り付けベースのネジ穴の位置を合わせます。
- 4.4本のネジで取り付けアダプターに取り付けベースを固定します。



Figure 2-11 マウントベースインストール

- 1. 壁マウント中心の穴にケーブルを通します。
- 2. カメラをマウントベースに合わせます。
- 3. ねじを締めてカメラをマウントベースに固定します。
- ビデオ出カコネクタをモニターに接続します。電源コネクタを接続します。
- 5. 画角と焦点調整します。



Figure 2-12 カメラ固定

インター黒いライナーをカメラにインストールします。
 バブルもインストールしてねじで固定します。

Figure 2-13 黒いライナーとバブル固定

2.3 画角と焦点調整

手順:

- 1.3 軸調整
 - 1). モニターを使って画面を確認します。
 - パン方向調整テーブルを動かしてパン方向の画角を調整します。
 - 3). チルト方向調整テーブルを動かしてチルト方向の画角を調整 します。
 - 面像の方位角を調整するためにレンズテーブルを回転させます。



Figure 2-14 3-軸調整

- 2. ズーム調整
 - 1). モニターを使って画面を確認します。
 - 2). ズームレバーを緩めてT(望遠)とW(広角)の間で調整します。
 - 3). ズームレバーを締めます。
 - 4). 焦点レバーを緩めて T(遠い)とW(近い)の間で調整して焦点 を合わせます。
 - 5). 焦点レバーを締めます。



Figure 2-15 レンズ調整

3 LAN を経由してネットワークカメ ラの設定

目的:

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由でカメラを表示および設定す るには、PCと同じサブネット内のネットワークカメラを接続する必要 があります。そしてネットワークカメラの IP アドレスを検索し、変更す るには SADP または PCNVR ソフトウェアをインストールする必要が あります。

次の図は、ネットワークカメラと PC のケーブル接続を示します。



Figure 3-1 LAN 経由での配線

IP アドレスの設定。

手順:

- IP アドレスの取得は下記のいずれか二つの方法でできます。
 - SADP:自動的にLAN内のネットワークカメラを検出し、図 3-2 に示すようにIPアドレス、サブネットマスク、ポート番号、 デバイスのシリアル番号、デバイスバージョン、デバイスの

ような情報を、一覧表示することができるソフトウェアツー ル。

- PCNVR ソフトウェア:オンラインのデバイスをリストアップします。詳細は PCNVR クライアントソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。
- お使いの PC と同じサブネットに IP アドレスとサブネットマスクを 変更する。

SADP ソフトウェアと IP アドレスを設定するには、次の紹介を参照してください。

ロ オンラインアクティブなデバイスを検索

自動的にオンラインデバイスを検索:

SADP ソフトウェアを起動すると、パソコンがサブネットから 15 秒ごとに自動的にオンラインデバイスを検索します。これ は、オンラインショップデバイスインターフェイスで検索デバ イスの総数、およびデバイスタイプ、IP アドレス、ポート番号、 ゲートウェイを含む機器情報が表示されます。



Figure 3-2 オンラインデバイス検索



デバイスがオンラインになると、15 秒以内に SADP が検索し、 表示することができます。オフラインになった後は、45 秒でリ ストから削除されます。

手動でオンラインのデバイスを検索:

 Refresh をクリックすると、オンラインデバイスリストが 更新され、新たに探索デバイスがリストに追加されます。



各列の一番上の または をクリックすると、列の表示 順番を再編成することができます。 >>>、または、 <<<>>>>、または、 <<<>>>>、の 、または、 <<<>>>>、の すると、ネットワークパラメータパネルの表示非表示の 切り替えが可能です。

ロ デバイス設定情報修正

手順:

- 図 3-3 に示すように、デバイスリストに変更するデバイスを 選択します。図 3-4 に示すように、デバイスのネットワーク パラメータは右側のネットワークパラメータパネルに表示さ れます。
- 2). 変更可能なネットワークパラメータを編集します。例: IP ア ドレスとポート番号。
- パスワードフィールドに、デバイスの管理者アカウントのパ スワードを入力し、保存をクリックします。

0	nline Devices	About					
Q T.	tal number of onl	line devices: 1				@ Refresh	»
ID /	Device Type	IPv4 Address	Port	Software Version	IPv4 Gateway	Serial No.	1
001	DS-XXXX-XX	192.0.0.64	8000	VX.X.XbuildXXXX	192.0.0.1	XX-XXXX-XXXX00000X	хх

Figure 3-3 デバイス選択

	192.0.0.64
Port	8000
Subnet Mask:	255.255.0.0
IPv4 Gateway:	192.0.0.1
IPv6 Address:	
IPv6 Gateway:	
IPv6 Prefix Length	h:
Serial No.:	****

Figure 3-4 ネットワークパラメータ編集

 ライブ映像を表示するには、Web ブラウザのアドレスフィールド にネットワークカメラの IP アドレスを入力します。



Web ブラウザでアクセス方法:

- カメラの電源をオンにし、カメラをネットワークに接続します。
- 2. Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、エンターキーを押し

てアクティベーションインターフェイスに入ります。

注意:

- カメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。
- デフォルトで DHCP が有効になっているカメラの場合、IP アドレスは

自動的に割り当てられます。また、カメラのアクティベーションは

SADP ソフトウェア経由で行わなければなりません。SADP 経由のア

クティベーションについては次章を参照してください。

Attantia Var tana User tana Dare tana Pasarie Pasarie Costen Costen

Network Dome Camera · Quick Operation Guide

- 図 3-1 Web ブラウザ経由のアクティベーション
- 3. 新しくパスワードを作り、パスワードフィールドに入力します。

<u>強力なパスワードを推奨</u> -製品のセキュリティを高めるため、ご自
分で選択した強力なパスワード(大文字、小文字、数字、特殊記
号のうち、少なくとも3つのカテゴリで構成された文字を8文字以
上含むパスワード)を設定するよう強くお勧めします。また、定期
的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、
毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保

護できます。

- 4. パスワードを確認します。
- 5. [OK] をクリックしてパスワードを保存し、ライブビューインターフェイスに入

ります。



Figure 3-5 プラグインダウンロード



Figure 3-6 プラグインインストール(1)



Figure 3-7 プラグインインストール(2)

 プラグインをインストールした後、再度ブラウザを開き、手順 2-4 をリピートしてください。



さらに設定の詳細な手順については、ネットワークカメラのユーザーマニュアルを参照してください。
Network Dome Camera • Quick Operation Guide



ネットワークドームカメラ

クイック設置ガイド

Network Dome Camera • Quick Operation Guide

UD.6L0201B1241A02

弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 ご質問、ご要望がある場合は、販売店に連絡することを躊躇し ないでください。

この資料に関して

このマニュアルは、次のモデルに適用されます。



本マニュアルはいくつかの技術的な記述が間違った場所や印刷 エラーを含む可能性があり、内容は予告なしに変更されること があります。ご了承ください。

免責事項

Underwriter Laboratories Inc (以下「UL」)では、本製品のセキ ユリティや信号出力に関するパフォーマンスや信頼性のテスト は行っていません。UL は、UP の「Standard(s) for Safety for Information Technology Equipment, UL 60950-1」で規定している 火災、衝撃、事故の危険性についてのみテストを行っています。 UL の認証は、本機のセキュリティや信号伝送に関する性能や 信頼性を保証するものではありません。UL は、本製品のセキ ユリティまたは信号出力関連の機能のパフォーマンスや信頼性 に関して、一切の表明、保証、認証を提供しません。

0500001030318

規制情報

FCC 情報

Network Dome Camera • Quick Operation Guide

FCC 準拠:この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に 規定される、デジタル デバイスの制限に適合することが確認さ れています。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、 有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されてい ます。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネル ギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置お よび使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす ことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な 干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で 干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用 は以下の 2 つの条件にしたがうものとします:

このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。

このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだ、あらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU 遺合宣言

CE

この製品、および一該当する場合には一提供される備品も含めて、「CE」マークの認定を受け

ており、低電圧指令 2006/95/EC および EMS 指 令 2004/108/EC、RoHS 指令 2011/65/EU に規定される、関連す る整合規格に適合しています。



2012/19/EU(WEEE指令):この記号が付いてい る製品は、欧州連合(EU)の地方自治体の未分 別廃棄物として処分できません。適切にリサイ クルするために、本製品は同等の新しい装置を

Network Dome Camera • Quick Operation Guide

購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定され た収集場所で処分してください。詳細については次の URLを参 照してください:www.recyclethis.info.



2006/66/EC (バッテリー指令):本製品には、欧 州連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物とし て処分できないバッテリーが含まれています。 特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧く ださい。バッテリーにはこの記号が付いており、

カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg)を示す文字も記載され ています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定さ れた収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参 照してください:www.recyclethis.info

Network Dome Camera-Quick Operation Guide

安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産 損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。 **警告**:この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性 があります。

注意:この注意を無視した場合、ケガしたり、装置が破損する可能性があります。





- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する 法令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関して は技術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV(安全超低電
 圧)および 24 VAC または 12 VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。

Network Dome Camera Quick Operation Guide

- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険 性があるため、1つの電源アダプターに複数のデバイスを 接続しないでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていること を確認してください。製品が壁または天井に設置される場合、機器をしっかりと固定する必要があります。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源 を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連 絡ください。



- カメラを使用する前に電源供給電圧が適正であることを 確認してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- センサー モジュールを指でさわらないでください。清掃が 必要な場合、清潔な布に少量のエタノールをつけ、やさし く拭いてください。カメラを長期間使用しない場合、レン ズキャップを装着し、センサー部をほこりから防護してく ださい。
- 太陽や極めて明るい場所にカメラを向けないでください。
 焦点ボケや不鮮明化が起こる可能性があり(動作不良ではありません)、またセンサーの寿命に影響する可能性があります。
- センサーはレーザー光線によって焼き付く可能性がある ため、レーザー装置を利用する場合には、センサーの表面

Network Dome Camera Quick Operation Guide

がレーザー光線にさらされることのないようにしてくだ さい。

- カメラを非常に高温または低温の場所(動作温度は -30°C ~ +60°C、またはカメラのモデル名の末尾に「H」がある 場合、-40°C ~ 60°Cです)、ホコリや湿気の多い場所に設 置しないでください。また強度の電磁放射線に当てないで ください。
- 熱がこもらないよう、動作環境には適切な換気が必要です。
- 使用中はカメラを液体から遠ざけてください。
- 搬送する場合、カメラは元々の梱包財か、同じ素材のもので梱包してください。
- 定期的な部品の交換:装置のいくつかのパーツ(たとえば電 解コンデンサ)についてはパーツの平均耐久時間に応じて、 定期的に交換してください。動作環境と利用状況によって 平均耐用時間は変わりますので、定期的な点検をすべての ユーザにおすすめします。詳細については販売店に確認し てください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性 があります。同一または同等のタイプのものとだけ交換し てください。バッテリーのメーカーによって提供された指 示にしたがって、使用済みバッテリーを処分してください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。カメラを決して自分自身で分解しようとしないでください。(承認されていない修理や保守行為による問題については我々はいかなる責任も負いません。)

目次

1	사観説 明	8
2	インストール	. 11
	2.1 分解	. 12
	2.2 マウンティング	. 13
	2.2.1 天井マウンティング	. 13
	2.2.2 ギャングボックスで天井マウンティング…	. 17
	2.2.3 ウォールマウンティング	. 20
	2.3 画角と焦点調整	. 23
3	AN を経由してネットワークカメラの設定	. 26
4	/eb ブラウザからのアクセス	. 31

4 外観説明

ネットワークバレットカメラの概要は下記となる。



Figure 4-1 概要

Table 4-1 概要

No.	説明
1	バブル
2	黒いライナー
3	レンズ
4	マウントベース
5	リセット
6	ビデオ補助出力
7	シリアルポート
8	マイクロ SD カードスロート
9	ネットワークケーブル
10	電源コード
11	オーディオ/アラームインターフェース

NOTE

- ユーザー名、パスワード、IP アドレスとポート番号をリセットするには、カメラを起動時、または再起動時約 10 秒程 RESET ボタンを押してください。
- 一部の品番はオーディオとアラーム機能がサポートできる。
 そのインターフェースは下記となる。

Network Dome Camera-Quick Operation Guide



Figure 4-2 オーディオとアラームインターフェース

5 インストール

始まる前

- パッケージ内のデバイスは良好な状態にあり、すべてのアセンブリ部品が含まれていることを確認する。
- すべての関連機器は、インストール時に電源オフであること を確認する。
- 設置環境に合わせる製品の仕様を確認する。
- ●損傷を避けるために必要な電圧と一致していることを確認 する。
- 製品が正常に機能しない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。自分で修理やメンテナンスのためにカメラを分解しないでください。
- ●壁は、カメラの3倍の重さに耐える十分な強度があることを 確認する。



赤外線をサポートするカメラについては、IR 反射を防ぐために、 次の注意事項に注意を払う必要です。

 ドームカバーのほこりやグリースは、IR 反射の原因となる。 インストールが完了するまで、ドームカバー膜を除去しないでください。ドームカバーのほこりやグリースがある場合は、きれいな柔らかい布とイソプロピルアルコールでド ームカバーを清掃してください。

Network Dome Camera Quick Operation Guide

- カメラのレンズに近すぎる反射面が存在しないことを確認してください。カメラからのIR光は反射を引き起こし、レンズに反射する恐れがある。
- レンズ周りの泡のリングは、IR LED からレンズを分離する バブルの内面にぴったり座っている必要がある。泡リング とドームカバーがシームレスに接続されているように、カ メラ本体にドームカバーを固定する。

5.1 分解

手順:

- 1. スクリュードライバーとバブルの端に3本のネジを緩めます。
- 2.図 2-1 に示すようにバブルを開き、内側の黒いライナーを取 り外す。



Figure 5-1 バブルと黒いライナーを取り外す。

5.2 マウンティング

天井マウンティング

手順:

- カメラを分解します。セクション 2.1 を参照してください。
 カメラを固定したい場所に付属のドリルテンプレートを取り付けます。
- 14. エラー! 参照元が見つかりません。のドリルテンプレートに 示すように天井にネジ穴3つをドリルします。



Figure 5-2 ドリルテンプレート

- 15. 天井の裏に配線したい場合、ドリルテンプレートに従って天井にケーブル穴をドリルします。
- 16. 天井の穴にバックボックスの穴を合わせて、天井にカメラを 取り付けます。

17. 付属のネジでカメラを固定します。



Figure 5-3 カメラ固定

18. ケーブルを穴に通します。

 ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネクタ を接続します。

20. 画角と焦点調整します。

- 21. インター黒いライナーをカメラにインストールします。
- 22. バブルもインストールしてねじで固定します。

Network Dome Camera · Quick Operation Guide



Figure 5-4 黒いライナーとバブル固定

配線管でのインストール

カメラの側面から配線したい場合、下記の手順で従ってください。

手順:

4.反時計回りで防水プラグを回転させます。



Figure 5-5 防水プラグ取り外し

5. 電源コードとネットワークケーブルを配線します。 6. 配線管を穴に合わせ時計回りで固定します。



Figure 5-6 配線管インストール



ウォールマウンティングする時に、防水のために、サイドアウ トレットを下向けにしてください。



Figure 5-7 サイドアウトレット方向

ギャングボックスで天井マウンティング

手順:

- カメラを分解します。セクション 2.1 を参照してください。
 ギャングボックスを天井に設置します。
- 2本のネジでギャングボックスの取り付けベースを取り付けます。



Figure 5-8 天井マウント

- 14. マウントベース中心の穴にケーブルを通します。
- 15. カメラをマウントベースに合わせます。
- 16. ねじを締めてカメラをマウントベースに固定します。
- ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネク タを接続します。
- 18. 画角と焦点調整します。



Figure 5-9 カメラ固定

19. インター黒いライナーをカメラにインストールします。
 20. バブルもインストールしてねじで固定します。

Network Dome Camera Quick Operation Guide



Figure 5-10 バブル固定

5.2.3 ウォールマウンティング

壁に取り付けには、壁マウントを購入する必要があります。 *手順*:

- 5. カメラを分解します。セクション 2.1 を参照してください。
- 図 2-11 示すように、壁マウントをイントールしてマウンティング用のアダプターもイントールします。
- 7. マウントアダプターの対応するネジ穴と取り付けベースの ネジ穴の位置を合わせます。
- 4本のネジで取り付けアダプターに取り付けベースを固定します。

Network Dome Camera-Quick Operation Guide



Figure 5-11 マウントベースインストール

- 8. 壁マウント中心の穴にケーブルを通します。
- 9. カメラをマウントベースに合わせます。
- 10. ねじを締めてカメラをマウントベースに固定します。
- ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネク タを接続します。
- 12. 画角と焦点調整します。

Network Dome Camera · Quick Operation Guide



Figure 5-12 カメラ固定

13. インター黒いライナーをカメラにインストールします。
 14. バブルもインストールしてねじで固定します。

Network Dome Camera-Quick Operation Guide

Figure 5-13 黒いライナーとバブル固定

5.3 画角と焦点調整

手順:

- 3.3 軸調整
 - 5). モニターを使って画面を確認します。
 - 6).パン方向調整テーブルを動かしてパン方向の画角を調整 します。
 - チルト方向調整テーブルを動かしてチルト方向の画角を 調整します。
 - ・画像の方位角を調整するためにレンズテーブルを回転させます。



Figure 5-14 3-軸調整

- 4. ズーム調整
 - 6). モニターを使って画面を確認します。
 - 7). ズームレバーを緩めて T(望遠)と W(広角)の間で調整します。
 - 8). ズームレバーを締めます。
 - 9). 焦点レバーを緩めて T(遠い)と W(近い)の間で調整して 焦点を合わせます。
 - 10). 焦点レバーを締めます。

Network Dome Camera · Quick Operation Guide



Figure 5-15 レンズ調整

6 LAN を経由してネットワークカメ ラの設定

目的:

LAN (ローカルエリアネットワーク) 経由でカメラを表示およ び設定するには、PCと同じサブネット内のネットワークカメラ を接続する必要がある。そして、検索し、ネットワークカメラ の IP アドレスを変更するには SADP または PCNVR ソフトウェ アをインストールしてからです。

次の図は、ネットワークカメラと PC のケーブル接続を示す:



Figure 6-1 LAN 経由での配線

IP アドレスの設定。

手順:

5. IP アドレスの取得は下記のいずれか二つの方法でできます。

□ SADP、自動的に LAN 内のネットワークカメラを検出し、 図 3-2 に示すように IP アドレス、サブネットマスク、ポ ート番号、デバイスのシリアル番号、デバイスバージョ Network Dome Camera-Quick Operation Guide

ン、デバイスのような情報を、一覧表示することができ るソフトウェアツール。

- PCNVR ソフトウェアを使用して、オンラインのデバイ スをリストする。詳細は PCNVR クライアントソフトウ ェアのユーザーマニュアルを参照してください。
- お使いの PC と同じサブネットに IP アドレスとサブネット マスクを変更する。

SADP ソフトウェアと IP アドレスを設定するには、次の紹介を参照してください。

オンラインアクティブなデバイスを検索

自動的にオンラインデバイスを検索:

SADP ソフトウェアを起動すると、パソコンがサブネットから 15 秒ごとに自動的にオンラインデバイスを検索する。これは、オンラインショップデバイスインターフェイスで検索デバイスの総数、およびデバイスタイプ、 IP アドレス、ポート番号、ゲートウェイを含む機器情報 が表示される。



Network Dome Camera Quick Operation Guide

Figure 6-2 オンラインデバイス検索



デバイスがオンラインになると、15秒以内 SADP に検索 され表示することができる。それがオフラインになった 後は、45秒でリストから削除される。

手動でオンラインのデバイスを検索:

Refresh をクリックし、オンラインデバイスリストの 更新も可能。新たに探索デバイスがリストに追加される。

各列の一番上の または をクリックすると、列の 表示順番を再編成することができる。 >>、または、 ≪ をクリックすると、ネットワークパラメータパネルの表 示非表示の切り替えが可能。

□ デバイス設定情報修正

手順:

- 4). 図 3-3に示すように、デバイスリストに、変更するデバイスを選択する。図 3-4に示すように、デバイスのネットワークパラメータは、右側のネットワークパラメータパネルに表示される。
- 変更可能なネットワークパラメータを編集する、例えば、 IPアドレスとポート番号。
- パスワードフィールドに、デバイスの管理者アカウント のパスワードを入力し、変更を有効するために保存をク リックする。

0	nline Devices	👔 About					
Q T.	tal number of onl	line devices: 1				Refresh >>	
ID /	Device Type	IPv4 Address	Port	Software Version	IPv4 Gateway	Serial No.	
001	DS-XXXX-XX	192.0.0.64	8000	VX.X.XbuildXXXX	192.0.0.1	XX-XXXX-XXXXXXXX	

Figure 6-3 デバイス選択

IP Address:	192.0.0.64
Port	8000
Subnet Mask:	255.255.0.0
IPv4 Gateway:	192.0.0.1
IPv6 Address:	
IPv6 Gateway:	
IPv6 Prefix Lengt	h:
Serial No.:	*****

Figure 6-4 ネットワークパラメータ編集

 ライブ映像を表示するには、Webブラウザのアドレスフィ ールドにネットワークカメラの IP アドレスを入力する。

NOTE

IPアドレスのデフォルト値は「192.0.0.64」である。デフォル トのユーザー名は「admin」、パスワードは「12345」である。

ログイン後異なるサブネットからネットワークカメラにア クセスするため、ネットワークカメラ用のゲートウェイを設 定してください。

7 Web ブラウザからのアクセス

システム要件:

OS: Microsoft Windows XP SP1 and above version / Vista / Win7 /

Server 2003 / Server 2008 32bits

CPU: Intel Pentium IV 3.0 GHz or higher

RAM: 1G or higher

Display: 1024×768 resolution or higher

Web Browser: Internet Explorer 6.0 and above version, Apple Safari 5.02 and above version, Mozilla Firefox 3.5 and above version and Google Chrome8 and above version

手順:

- 1. ウェブブラウザを開く。
- ネットワークカメラの IP アドレスを入力してください。例: 192.0.0.64.
- 3. ユーザー名とパスワードを入力する。
- 4. ログインをクリックする。

Network Dome Camera-Quick Operation Guide

			English	~
- In the second	Liearbierre	admin		
	Password	•••••		
		Login		

Figure 7-1 ログインインターフェース

 ライブビデオを見るやカメラを管理する前に、プラグイン をインストールしてください。プラグインをインストール するには、インストールの指示に従ってください。



プラグインのインストールを完了するために、Web ブラウザを 閉じる必要がある。


Figure 7-2 プラグインダウンロード



Figure 7-3 プラグインインストール(1)



Figure 7-4 プラグインインストール(2)

 プラグインをインストールした後、再度ブラウザを開き、 手順24をリピートしてください。



さらに設定の詳細な手順については、ネットワークカメラのユ ーザーマニュアルを参照してください。



ネットワークドームカメラ

クイック設置ガイド

UD.6L0201B1241A02

弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 ご質問、ご要望がある場合は、販売店に連絡することを躊躇し ないでください。

この資料に関して

このマニュアルは、次のモデルに適用されます。



本マニュアルはいくつかの技術的な記述が間違った場所や印刷 エラーを含む可能性があり、内容は予告なしに変更されること があります。ご了承ください。

免責事項

Underwriter Laboratories Inc (以下「UL」)では、本製品のセキ ユリティや信号出力に関するパフォーマンスや信頼性のテスト は行っていません。UL は、UP の「Standard(s) for Safety for Information Technology Equipment, UL 60950-1」で規定している 火災、衝撃、事故の危険性についてのみテストを行っています。 UL の認証は、本機のセキュリティや信号伝送に関する性能や 信頼性を保証するものではありません。UL は、本製品のセキ ユリティまたは信号出力関連の機能のパフォーマンスや信頼性 に関して、一切の表明、保証、認証を提供しません。

0500001030318

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠:この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に 規定される、デジタル デバイスの制限に適合することが確認さ れています。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、 有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されてい ます。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネル ギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置お よび使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす ことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な 干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で 干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用 は以下の 2 つの条件にしたがうものとします:

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。

このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだ、あらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU 遺合宣言

CE

この製品、および-該当する場合には-提供さ れる備品も含めて、「CE」マークの認定を受け ており、低電圧指令 2006/95/EC および EMS 指

令 2004/108/EC、RoHS 指令 2011/65/EU に規定される、関連す る整合規格に適合しています。



2012/19/EU(WEEE 指令):この記号が付いてい る製品は、欧州連合(EU)の地方自治体の未分 別廃棄物として処分できません。適切にリサイ

クルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、 お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処 分してください。詳細については次の URL を参照してくださ い:www.recyclethis.info.



2006/66/EC (バッテリー指令):本製品には、欧 州連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物とし て処分できないバッテリーが含まれています。 特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧く ださい。バッテリーにはこの記号が付いており、

カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg)を示す文字も記載され ています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定さ れた収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参 照してください:www.recyclethis.info

安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産 損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。 **警告**:この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性

があります。

注意:この注意を無視した場合、ケガしたり、装置が破損する可 能性があります。

A	
警告:傷や死亡を防ぐために、これらの安全対策にしたがってください。	注意: ケガや物損の可能性を 抑えるために、これらの注意 にしたがってください。



- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安 全性に関する法令に厳密にしたがう必要があ ります。詳細情報に関しては技術仕様を参照 してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV (安全超低電圧)および 24 VAC または 12 VDC の有限電源を満たす必要があります。詳

細情報に関しては技術仕様を参照してください。

- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや 火災の危険性があるため、1つの電源アダプ ターに複数のデバイスを接続しないでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。製品が壁または天井に設置される場合、機器をしっかりと固定する必要があります。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、 すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、 サービスセンターにご連絡ください。



- カメラを使用する前に電源供給電圧が適正で あることを確認してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- センサーモジュールを指でさわらないでく ださい。清掃が必要な場合、清潔な布に少量 のエタノールをつけ、やさしく拭いてください。カメラを長期間使用しない場合、レンズ キャップを装着し、センサー部をほこりから 防護してください。

- 太陽や極めて明るい場所にカメラを向けない でください。焦点ボケや不鮮明化が起こる可 能性があり(動作不良ではありません)、また センサーの寿命に影響する可能性があります。
- センサーはレーザー光線によって焼き付く可 能性があるため、レーザー装置を利用する場 合には、センサーの表面がレーザー光線にさ らされることのないようにしてください。
- カメラを非常に高温または低温の場所(動作 温度は -30°C~+60°C、またはカメラのモ デル名の末尾に「H」がある場合、-40°C~
 60°Cです)、ホコリや湿気の多い場所に設置 しないでください。また強度の電磁放射線に 当てないでください。
- 熱がこもらないよう、動作環境には適切な換 気が必要です。
- 使用中はカメラを液体から遠ざけてください。
- 搬送する場合、カメラは元々の梱包財か、同じ素材のもので梱包してください。
- 定期的な部品の交換:装置のいくつかのパー ツ(たとえば電解コンデンサ)についてはパー ツの平均耐久時間に応じて、定期的に交換し てください。動作環境と利用状況によって平 均耐用時間は変わりますので、定期的な点検 をすべてのユーザにおすすめします。詳細に ついては販売店に確認してください。

- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、 爆発の危険性があります。同一または同等の タイプのものとだけ交換してください。バッ テリーのメーカーによって提供された指示に したがって、使用済みバッテリーを処分して ください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または 最寄りのサービスセンターに連絡してください。カメラを決して自分自身で分解しようとしないでください。(承認されていない修理や保守行為による問題については我々はいかなる責任も負いません。)

Table of Contents

1	外観説明		. 8
2	インスト	ール	11
	2.1	分解	12
	2.2	マウンティング	13
		2.2.1 天井マウンティング	13
		2.2.2 ギャングボックスで天井マウンティング	17
		2.2.3 ウォールマウンティング	20
	2.3	画角と焦点調整	23
3	LAN を経	由してネットワークカメラの設定	26
4	Web ブラ	ウザからのアクセス	31

8 外観説明

ネットワークバレットカメラの概要は下記となる。



Figure 8-1 概要

Table 8-1 概要

No.	説明
1	バブル
2	黒いライナー
3	レンズ
4	マウントベース
5	リセット
6	ビデオ補助出力
7	シリアルポート
8	マイクロ SD カードスロート
9	ネットワークケーブル
10	電源コード
11	オーディオ/アラームインターフェース



- ユーザー名、パスワード、IP アドレスとポート番号をリセットするには、カメラを起動時、または再起動時約 10 秒程 RESET ボタンを押してください。
- 一部の品番はオーディオとアラーム機能がサポートできる。
 そのインターフェースは下記となる。

Figure 8-2 オーディオとアラームインターフェース

9 インストール

始まる前

- パッケージ内のデバイスは良好な状態にあり、すべてのアセンブリ部品が含まれていることを確認する。
- すべての関連機器は、インストール時に電源オフであること を確認する。
- 設置環境に合わせる製品の仕様を確認する。
- ●損傷を避けるために必要な電圧と一致していることを確認 する。
- 製品が正常に機能しない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。自分で修理やメンテナンスのためにカメラを分解しないでください。
- ●壁は、カメラの3倍の重さに耐える十分な強度があることを 確認する。



赤外線をサポートするカメラについては、IR 反射を防ぐために、 次の注意事項に注意を払う必要です。

 ドームカバーのほこりやグリースは、IR 反射の原因となる。 インストールが完了するまで、ドームカバー膜を除去しないでください。ドームカバーのほこりやグリースがある場合は、きれいな柔らかい布とイソプロピルアルコールでド ームカバーを清掃してください。

- カメラのレンズに近すぎる反射面が存在しないことを確認してください。カメラからのIR光は反射を引き起こし、レンズに反射する恐れがある。
- レンズ周りの泡のリングは、IR LED からレンズを分離する バブルの内面にぴったり座っている必要がある。泡リング とドームカバーがシームレスに接続されているように、カ メラ本体にドームカバーを固定する。

9.1 分解

- 1. スクリュードライバーとバブルの端に3本のネジを緩めます。
- 2.図 2-1 に示すようにバブルを開き、内側の黒いライナーを取り外す。



Figure 9-1 バブルと黒いライナーを取り外す。

9.2 マウンティング

天井マウンティング

- 23.カメラを分解します。セクション 2.1 を参照してください。
 24.カメラを固定したい場所に付属のドリルテンプレートを取り付けます。
- 25. エラー! 参照元が見つかりません。のドリルテンプレートに 示すように天井にネジ穴3つをドリルします。



Figure 9-2 ドリルテンプレート

- 26. 天井の裏に配線したい場合、ドリルテンプレートに従って天井にケーブル穴をドリルします。
- 27. 天井の穴にバックボックスの穴を合わせて、天井にカメラを 取り付けます。
- 28. 付属のネジでカメラを固定します。



Figure 9-3 カメラ固定

29. ケーブルを穴に通します。

 ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネクタ を接続します。

31. 画角と焦点調整します。

32. インター黒いライナーをカメラにインストールします。

33. バブルもインストールしてねじで固定します。



Figure 9-4 黒いライナーとバブル固定

配線管でのインストール

カメラの側面から配線したい場合、下記の手順で従ってください。

手順:

7. 反時計回りで防水プラグを回転させます。



Figure 9-5 防水プラグ取り外し

8. 電源コードとネットワークケーブルを配線します。
 9. 配線管を穴に合わせ時計回りで固定します。



Figure 9-6 配線管インストール

NOT

ウォールマウンティングする時に、防水のために、サイドアウトレットを下向けにしてください。



Figure 9-7 サイドアウトレット方向

ギャングボックスで天井マウンティング

- カメラを分解します。セクション 2.1 を参照してください。
 ギャングボックスを天井に設置します。
- 23.2本のネジでギャングボックスの取り付けベースを取り付けます。



Figure 9-8 天井マウント

- 24. マウントベース中心の穴にケーブルを通します。
- 25. カメラをマウントベースに合わせます。
- 26. ねじを締めてカメラをマウントベースに固定します。
- ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネク タを接続します。
- 28. 画角と焦点調整します。



Figure 9-9 カメラ固定

29. インター黒いライナーをカメラにインストールします。
 30. バブルもインストールしてねじで固定します。



Figure 9-10 バブル固定

9.2.3 ウォールマウンティング

壁に取り付けには、壁マウントを購入する必要があります。 *手順*:

9. カメラを分解します。セクション 2.1 を参照してください。

- 図 2-11 示すように、壁マウントをイントールしてマウンティング用のアダプターもイントールします。
- マウントアダプターの対応するネジ穴と取り付けベースの ネジ穴の位置を合わせます。
- 12.4本のネジで取り付けアダプターに取り付けベースを固定 します。



Figure 9-11 マウントベースインストール

- 15. 壁マウント中心の穴にケーブルを通します。
- 16. カメラをマウントベースに合わせます。
- 17. ねじを締めてカメラをマウントベースに固定します。
- ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネク タを接続します。

19. 画角と焦点調整します。



Figure 9-12 カメラ固定

20. インター黒いライナーをカメラにインストールします。
 21. バブルもインストールしてねじで固定します。

Figure 9-13 黒いライナーとバブル固定

9.3 画角と焦点調整

- 5.3 軸調整
 - 9). モニターを使って画面を確認します。
 - 10.パン方向調整テーブルを動かしてパン方向の画角を調整 します。
 - チルト方向調整テーブルを動かしてチルト方向の画角を 調整します。
 - 画像の方位角を調整するためにレンズテーブルを回転させます。



Figure 9-14 3-軸調整

- 6. ズーム調整
 - 11). モニターを使って画面を確認します。
 - 12). ズームレバーを緩めて T(望遠)と W (広角) の間で調整 します。
 - 13). ズームレバーを締めます。
 - 14. 焦点レバーを緩めて T(遠い)と W(近い)の間で調整し て焦点を合わせます。
 - 15). 焦点レバーを締めます。



Figure 9-15 レンズ調整

10 LAN を経由してネットワークカメ ラの設定

目的:

LAN (ローカルエリアネットワーク) 経由でカメラを表示およ び設定するには、PCと同じサブネット内のネットワークカメラ を接続する必要がある。そして、検索し、ネットワークカメラ の IP アドレスを変更するには SADP または PCNVR ソフトウェ アをインストールしてからです。

次の図は、ネットワークカメラと PC のケーブル接続を示す:



Figure 10-1 LAN 経由での配線

IP アドレスの設定。

- 7. IP アドレスの取得は下記のいずれか二つの方法でできます。
 - □ SADP、自動的に LAN 内のネットワークカメラを検出し、 図 3-2 に示すように IP アドレス、サブネットマスク、ポ ート番号、デバイスのシリアル番号、デバイスバージョ

ン、デバイスのような情報を、一覧表示することができ るソフトウェアツール。

- PCNVR ソフトウェアを使用して、オンラインのデバイ スをリストする。詳細は PCNVR クライアントソフトウ ェアのユーザーマニュアルを参照してください。
- お使いの PC と同じサブネットに IP アドレスとサブネット マスクを変更する。

SADP ソフトウェアと IP アドレスを設定するには、次の紹介を参照してください。

オンラインアクティブなデバイスを検索

自動的にオンラインデバイスを検索:

SADP ソフトウェアを起動すると、パソコンがサブネットから 15 秒ごとに自動的にオンラインデバイスを検索する。これは、オンラインショップデバイスインターフェイスで検索デバイスの総数、およびデバイスタイプ、 IP アドレス、ポート番号、ゲートウェイを含む機器情報 が表示される。



Figure 10-2 オンラインデバイス検索



デバイスがオンラインになると、15秒以内 SADP に検索 され表示することができる。それがオフラインになった 後は、45秒でリストから削除される。

手動でオンラインのデバイスを検索:

Refresh をクリックし、オンラインデバイスリストの 更新も可能。新たに探索デバイスがリストに追加される。

各列の一番上の または をクリックすると、列の 表示順番を再編成することができる。 >>、または、 ≪ をクリックすると、ネットワークパラメータパネルの表 示非表示の切り替えが可能。

□ デバイス設定情報修正

- 図 3-3に示すように、デバイスリストに、変更するデバ イスを選択する。図 3-4に示すように、デバイスのネッ トワークパラメータは、右側のネットワークパラメータ パネルに表示される。
- 変更可能なネットワークパラメータを編集する、例えば、 IPアドレスとポート番号。
- パスワードフィールドに、デバイスの管理者アカウントのパスワードを入力し、変更を有効するために保存をクリックする。

0	nline Devices	🕡 About					
Q T.	tal number of onl	line devices: 1				@ Refresh >>	
ID /	Device Type	IPv4 Address	Port	Software Version	IPv4 Gateway	Serial No.	
001	DS-XXXX-XX	192.0.0.64	8000	VX.X.XbuildXXXX	192.0.0.1	XX-XXXX-XXXX0000000X	

Figure 10-3 デバイス選択

IP Address:	192.0.0.64
Port	8000
Subnet Mask:	255.255.0.0
IPv4 Gateway:	192.0.0.1
IPv6 Address:	
IPv6 Gateway:	
IPv6 Prefix Lengt	h:
Serial No.:	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

Figure 10-4 ネットワークパラメータ編集

 ライブ映像を表示するには、Webブラウザのアドレスフィ ールドにネットワークカメラの IP アドレスを入力する。

NOTE

IPアドレスのデフォルト値は「192.0.0.64」である。デフォル トのユーザー名は「admin」、パスワードは「12345」である。

ログイン後異なるサブネットからネットワークカメラにア クセスするため、ネットワークカメラ用のゲートウェイを設 定してください。

11 Web ブラウザからのアクセス

システム要件:

OS: Microsoft Windows XP SP1 and above version / Vista / Win7 /

Server 2003 / Server 2008 32bits

CPU: Intel Pentium IV 3.0 GHz or higher

RAM: 1G or higher

Display: 1024×768 resolution or higher

Web Browser: Internet Explorer 6.0 and above version, Apple Safari 5.02 and above version, Mozilla Firefox 3.5 and above version and Google Chrome8 and above version

- 10. ウェブブラウザを開く。
- ネットワークカメラの IP アドレスを入力してください。例: 192.0.0.64.
- 12. ユーザー名とパスワードを入力する。
- 13. ログインをクリックする。

		English	۷
User Name	ədmin		
Password	••••		
	Login		

Figure 11-1 ログインインターフェース

 ライブビデオを見るやカメラを管理する前に、プラグイン をインストールしてください。プラグインをインストール するには、インストールの指示に従ってください。



プラグインのインストールを完了するために、Web ブラウザを 閉じる必要がある。


Network Dome Camera-Quick Operation Guide

Figure 11-2 プラグインダウンロード



Figure 11-3 プラグインインストール(1)



Network Dome Camera Quick Operation Guide

Figure 11-4 プラグインインストール(2)

 プラグインをインストールした後、再度ブラウザを開き、 手順2-4をリピートしてください。



さらに設定の詳細な手順については、ネットワークカメラのユ ーザーマニュアルを参照してください

Network Dome Camera · Quick Operation Guide